

藤原 義久 講師

プロフィール



略歴

1939年（昭和14年）東京に生まれる。

1945年（昭和20年）学習院初等科へ入学以降、2009年（平成21年）に学習院大学文学部哲学科非常勤講師を定年退職するまでの約65年間、学習院の名簿に名前が載り続ける。年代順に児童、生徒、学生、部活指導者、非常勤教諭、専任教諭、兼任教諭、娘と息子の保護者、兼任講師、非常勤講師である。なおその間、約40年にわたっては、他の教育機関で学び教えた。学んだのは東京芸術大学とパリ音楽院、教えたのは山形大学教育学部、東北芸術工科大学、東京音楽大学などである。

山形大学を定年退職後、＜新進の隠居にして横丁の作曲家＞とし老後デビューし、若い音楽家達に助けられながら新作を発表している。

2001年癌を患うが、的確な手術と新しい療法の併用により、5年生存の壁を超えることが出来た。

昨年の暮れ、善良なクラシック音楽ファンが目をむくような表題の本を出版した。『ヨーロッパ芸術音楽の終焉』という作曲家論である。

現在の肩書 山形大学名誉教授

日本作曲家協議会会員 日本音楽学会会員

患者の集いモミの木代表世話人

桜友会会員